

バロー、都内に初出店へ

今秋、関東で店舗網拡大

バローホールディングス(HD)は、今秋に主力の食品スーパー「バロー」を東京都内に初出店する。関東で店舗網を拡大する方針を示しており、昨年11月に横浜市内で関東1号店をオープンしていた。巨大市場である東京への進出で、2028年3月期の連結売上高1兆円計画に弾みをつける。

(松浦健司)

売上高1兆円へ弾み

場所は東京都大田区で、店名は「スーパーマーケットバロー本羽田店(仮称)」。昨年末に閉店した首都圏地盤のディスカウントスーパー「オリンピック」跡に出店する。オープニングスタッフを募集するなど、開店に

向けた準備を進めている。関東1号店となる「横浜下永谷店」は、鮮魚の対面販売に加えて、店内製造のパンやすし、フルーツデザートが来店客の支持を得て、販売額は堅調に推移している。

て、関西でもドラッグストアを含めグループで出店攻勢をかけている。田代正美会長兼CEOは1月、今年の展望について「中部から関東、関西にマーケットが広がる。大きな市場が待っている」と話している。

昨年11月にオープンしたバローの関東1号店の「横浜下永谷店」
横浜市



人口の多い関東での積極出店により、関東のグループ売上高は早期に500億円を目指す。バローHD傘下の公正屋(山梨県上野原市)、てらお食品(千葉県八千代市)が関東で食品スーパーを展開しており、25年3月期は180億円規模だった。500億円規模に育てば、物流センターの新設も視野に入ってくる。バローHDは関東に加え